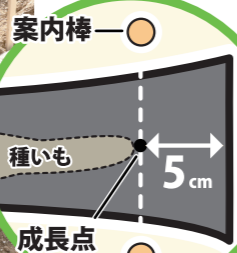


9 案内棒を設置する。

地表面に近い側のホルダーの両脇に、端から5cm以上の余裕をもって案内棒を立てる。



案内棒とは



種いもの植え付け位置の目安となる棒のこと。
30cm程の割り竹や木材を用意する。

10 両側からホルダー上に5cm程覆土し、種いもを設置する。

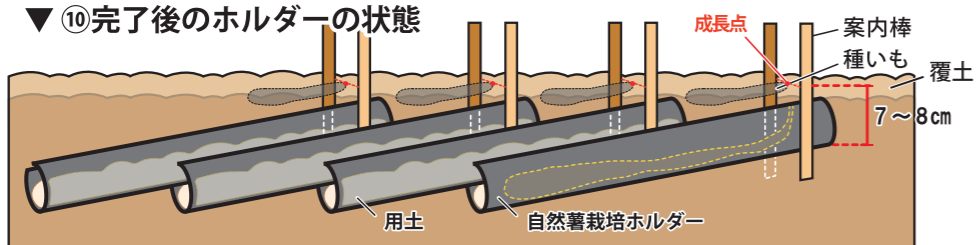
覆土後、種いもは案内棒の間に生長点を配置し、ホルダーの底面から7~8cm上側に設置する。



※ホルダー内の用土の上に覆土し、用土の上に直接種いもを置かない。



▼ 10完了後のホルダーの状態



11 畝立てをし、案内棒を引き抜く。

※案内棒を設置したままにすると病害の原因となるため、必ず抜き取る。



12 収穫までの主な作業

- 定植後早めに支柱を立てネットを張る。
- 7~8月頃追肥を行う。



13 収穫

ホルダーごと芋を土から引き抜く。
11月~3月ごろまでに行う。



岩谷マテリアル株式会社

Iwatani 自然薯栽培用資材



日本特産農産物協会
地域特産物マイスター
やまがたしげかず
山縣 繁一さん 監修

自然薯栽培ホルダー



長さ130cmのホルダーが芋をまっすぐ育てる!

Iwatani 自然薯栽培ホルダー の特徴

(特許出願済み)(選べる2タイプ)

1 省スペースで立体栽培が可能 4 伸長を防ぐストッパー付きタイプ

U字型のためホルダーを重ねて設置でき、収穫も簡単。

排水性の高い不織布をポケットのようにホルダー先端に設置しました。芋の生長点がそこへ入り込むと、ストッパーが芋の伸長を妨げます!

2 土の使用量を削減

ホルダー内に入れる土の投入量を最小限に抑える形状で、作業効率とコストを改善。

3 寒さに強い、軟質素材

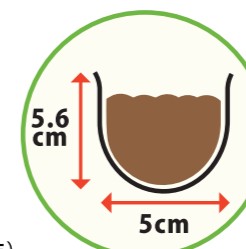
芋を傷つけにくい、やわらかいポリエチレン製。さらに耐寒性が高く、割れにくい素材です。



※栽培環境によっては必ずしもストッパーまで芋が伸長するとは限りません。

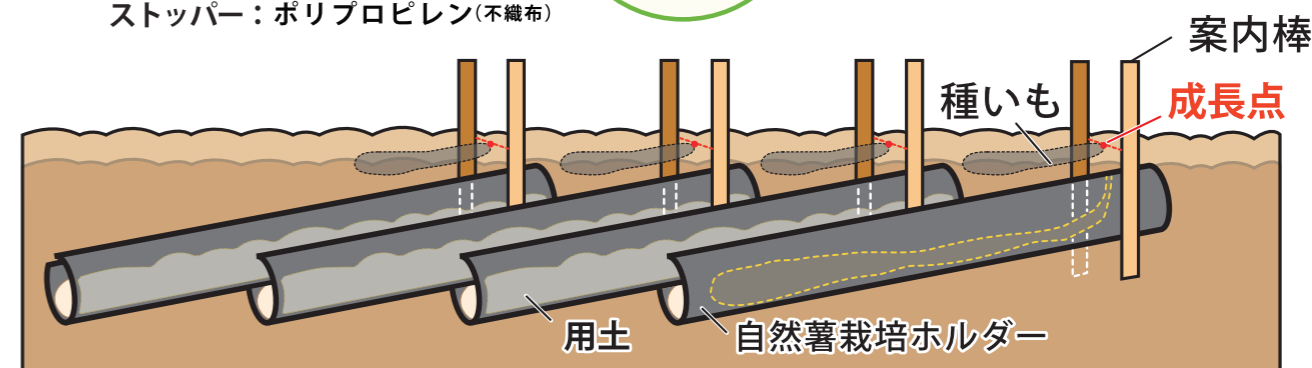
規格

厚さ	長さ	幅	高さ
0.6mm	130cm	5cm	5.6cm



素材

ホルダー：ポリエチレン
ストッパー：ポリプロピレン(不織布)



岩谷マテリアル株式会社

東京本社
〒104-0033 東京都中央区新川 1-4-1 TEL: 03-3555-3501

自然薯栽培ホルダーを使用した栽培方法

栽培時期

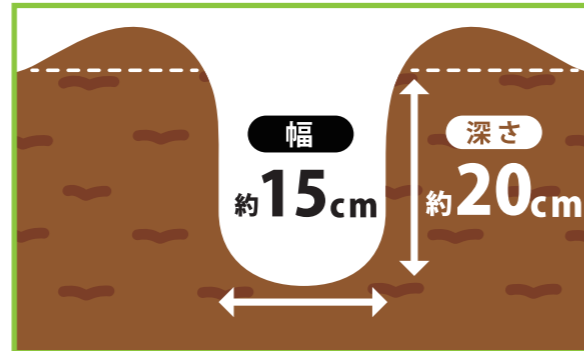
作付
4月下旬から6月上旬
収穫
11月から3月

必要資材

- ① 自然薯ホルダー ② 種いも ③ 園芸スコップや熊手
- ④ くわ ⑤ 案内棒 ⑥ キュウリネット等のネット
- ⑦ 支柱 ⑧ 完熟堆肥等肥料 ⑨ 園芸用 U 字型ピン
- ⑩ ホルダー内に入れる、有機物の入っていない山砂など

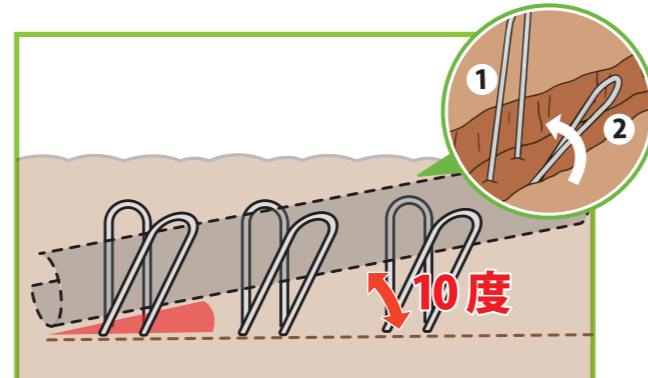
① ホルダーの埋設溝を掘る。

幅約15cm、深さ約20cmの溝をまっすぐに掘る。※畑の土にはあらかじめ肥料を入れて耕運しておく。



② 設置するホルダーの角度を決める。

ホルダーを地面から約10度の角度で仮設置し、2本のU字型ピンで挟み込むように固定する。



③ 有機物の入っていない用土をホルダー内に入れる。

※写真は自作の木枠で1本ずつホルダーを支えています。



④ ピンの間に用土入りホルダーを設置する。

②で仮設置した角度の通り設置する。



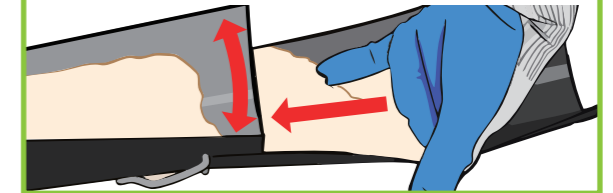
⑤ 株間20cmでホルダーをずらしながら重ねて設置していく。

前のホルダーの中に、次のホルダーを入れ込みながら設置する。



ポイント

種いもから真下に伸びる生長点をホルダーで受け止めるために地表面に近いホルダーの端の下に指を使って枕土を入れ込み、できるだけ口を広げる。



⑥ 埋設溝を土寄せして押し固め、ホルダーを固定する。



⑦ ホルダーいっぱい用土を追加する。



⑧ 畑の土の高さをホルダーの高さに揃え、押しピンを取り除く。



▼ ⑧完了後のホルダーの状態

